

講義名	卒業研究
講義コード	44104
担当教員	酒井 彰
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
酒井彰ゼミ
学部
経済学部
学科
経済学科・地域まちづくりコース
演習名
地域計画論

## 概要説明

ゼミは皆さんの「自己実現」を目指すことを目的としていますから、皆さんが取組みたい研究テーマを自ら選択してください。「地域」や「都市」を生活や活動の場として見つめ直してみたり、みじかな環境の変化に気を付けたりすることで、研究対象となり得るテーマは無数に存在するはず。テーマは、自分が生活する地域の問題を取り上げてもいいし、関心を持ったテーマとそのテーマにかかわりの深い地域（海外を含めて）を研究対象としてもかまいません。まずは、世の中のこと、社会のこと、そしてそれらと自分との関わりに関心を持ってほしいと思います。テーマを選んだら、基本的に次の方針で、研究に取り組んでもらいたいと思います。

何がわかって、何がわからないかを認識できる能力を磨く。  
わからないことを、わかるためにどうすればよいかをゼミ生全員で議論する。  
議論するためのpresentation能力を磨く。  
個々の成果をもちより、何ができるのかを全員で議論する。  
議論した内容をもとに、さらに研究内容を深める。

なお、皆さんに最低限習得してもらいたいアプローチとしては、「問題の明確化 調査・分析 代替案の設計 代替案の評価」というプロセスを循環的に繰り返す「システムズアナリシス」です。これは、皆さんが何らかの意思決定をする際に、無意識に行っている思考過程を明示化したひとつのツールで、幅広く応用できるものです。そして、システムズアナリシスの手順のなかで、問題の本質を捉えるための「問題の明確化」に重点を置いてもらいたいと思います。

学位
博士(工学)

## 教員よりの要望

何ごとにも好奇心をもち、先入観にとらわれない発想をしてほしいと思います。皆さんから刺激を受けることも期待しています。

教員英字氏名
Akira Sakai

研究室
研究棟111 3409研究室

最終学歴
京都大学大学院工学研究科修士課程衛生工学専攻修了

## 主な研究活動・社会活動・研究業績

- ・Bangladeshの「水と衛生」の現状分析と自立的問題解決に向けた研究
- ・NPO法人代表、NPO活動としてBangladeshの農村や都市スラムで資源循環型トイレなど生活環境施設導入による生活環境改善活動を展開中。
- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）における海外からの研修生向けに「環境」、「衛生」をテーマに講義

## 主な卒業論文のタイトル

- ・地域特性を考慮した飲食店舗企画案
- ・都市生活者と水との関わり
- ・LRTを生かしたまちづくり
- ・このほか卒業研究で取り上げられたテーマ：地域活性化、少子化対策、人口減少社会問題、移民、獣害、エコカー、LCA、エコツーリズム、フェアトレード、NPO
- ・ポランディア、環境問題とスポーツ、都市の水辺、環境共生住宅など

## 趣味・特技

まち歩き、水辺探訪；国内、Bangladeshばかりでなく、アフリカ（ケニアなど）にも行き始めているので、当分時間がとれない。Bangladeshには何度も行っていて、子供たちの笑顔に出会うことが楽しみ。ぜひ皆さんにも一度訪れてみてほしいところです。あとはジャンルをあまり問わず音楽鑑賞。

所属
経済学部経済学科地域まちづくりコース

所属学会
土木学会、国際開発学会、京都大学環境衛生工学研究会、環境情報科学センター

専門分野
環境工学 環境リスクマネジメント

選考方法
皆さんの応募書類、面接での印象にもとづいて判断します。最も重視したいことは何をしたいかがわかっていること、あるいはわかろうという姿勢が感じられることです。私の演習を履修するために、あらかじめ受講する必要がある科目は特にありません。

担当科目
地域防災論、環境計画論、地域まちづくり特別研究、都市環境論、教養基礎（経済と社会）、教養総合（環境問題の多面性）、海外流通政策、都市政策研修、オフキャンパス研修

備考
ゼミ生からのメッセージです。 ・楽しく自分のやりたいことができるゼミです。

## 評価方法

何ごとにも「何だ？(what)」、「なぜ？(why)」にこだわり、「どうしたらいい？」と考えることをめんどくさがらず、素直な発想を持っていることが、堅実な研究をするうえで前提です。その姿勢を持つことを期待したいと考えています。評価においては、選んだテーマに関する調査内容、提案内容、プレゼンテーションなどを動機しますが、whatとwhyにこだわる姿勢と提案内容のユニークさに重点をおきたいと思います。なお、欠席・遅刻をしないことは大前提です。ゼミには常に参加意識（参加者としての役割を自覚する）をもってほしいと思います。（出席するだけで傍観者の態度では参加したことにはなりません。）